

第74回北海道高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会  
 兼 第73回北海道体育大会冬季大会スケート競技会  
 兼 第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会北海道予選会

## 大会要項

### 第74回北海道高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会

主催 北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・公益財団法人北海道スポーツ協会  
 一般財団法人北海道スケート連盟・一般財団法人北海道アイスホッケー連盟  
 後援 帯広市・帯広市教育委員会・帯広市スポーツ協会・一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団  
 主管 北海道高等学校体育連盟スケート専門部・北海道高等学校体育連盟十勝支部  
 帯広スケート連盟・帯広アイスホッケー連盟

### 第73回北海道体育大会冬季大会スケート競技会

### 第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会北海道予選会

主催 公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人北海道スポーツ協会  
 後援 スポーツ庁・北海道・帯広市・帯広市教育委員会・帯広市スポーツ協会・一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団  
 主管 一般財団法人北海道スケート連盟・一般財団法人北海道アイスホッケー連盟  
 帯広スケート連盟・帯広アイスホッケー連盟  
 当番校 スピード競技・フィギュア競技（主管校）

北海道帯広農業高等学校 〒080-0834 帯広市稲田町西1線9番地

TEL 0155-48-3051 Fax 0155-48-3052

アイスホッケー競技

北海道帯広緑陽高等学校 〒080-0861 帯広市南の森東3丁目1-1

TEL 0155-48-6605 Fax 0155-48-6603

1 大会期日 フィギュア競技 令和3年12月11日（土曜日）～12日（日曜日）  
 アイスホッケー競技 令和3年12月10日（金曜日）～14日（火曜日）  
 スピード競技 令和3年12月16日（木曜日）～19日（日曜日）

#### 詳細日程

日	曜日	アイスホッケー競技	スピード競技	フィギュア競技
11/29	月	組合せ抽選会（13:30～） （帯広緑陽高校 会議室）	組合せ抽選会（13:00～） （帯広農業高校 会議室）	
12/10	金	開会式・公式練習 監督主将会議（17:00～）		
12/11	土	競技 1回戦（9:30～）		公式練習（8:30～12:00） 開会式（12:30～） 選手会 開会式終了後 ショートプログラム （14:00～19:45）
12/12	日	競技 準々決勝（10:00～）		公式練習（6:30～9:15） フリースケーティング （9:30～16:00） 閉会式
12/13	月	競技 準決勝（10:00～）		
12/14	火	競技 決勝（10:10～） 閉会式		
12/16	木		公式練習（9:00～10:00・10:10～11:10） ※スタートトライアル（9:30～9:45） （10:40～10:55） 開会式（12:00～）リンク観覧席 終了後、監督会議（11:20～）	
12/17	金		公式練習（8:00～9:30）開式通告（9:30～） 競技（10:00～）男5000m, 女3000m, 男女500m 公式練習（競技終了後30分）	
12/18	土		公式練習（8:00～9:30） 競技（10:00～）男10000m, 女男1000m リレー練習（競技終了後1時間）	
12/19	日		公式練習（8:00～9:30） 競技（10:00～）女男1500m, 女男パシュート, 女男2000mR 閉会式 表彰式	

※ 閉会式・表彰式は各種目別に競技終了後各会場でを行います。

※ フィギュア競技の時間は、参加人数により変更があります。

## 2 会 場

- (1) フィギュア競技  
開会式・閉会式 帯広の森スポーツセンター 2F  
~~選手会~~ ~~帯広の森スポーツセンター 2F~~  
競 技 帯広の森スポーツセンター アリーナ
- (2) アイスホッケー競技  
~~開 会 式~~ とかちプラザ 会議室 304  
監督主将会議 とかちプラザ 会議室 304  
競 技・閉会式 帯広の森アイスアリーナ・帯広の森第二アイスアリーナ
- (3) スピード競技  
~~開会式・閉会式~~ 明治北海道十勝オーバル 観覧席 ※開式通告を行う  
監 督 会 議 明治北海道十勝オーバル 2F 研修室  
競 技 明治北海道十勝オーバル スピードスケートリンク

## 3 種 目

- (1) フィギュア競技
- |            |            |       |               |
|------------|------------|-------|---------------|
| ア 男子【Aクラス】 | ショートプログラム  | 2分40秒 |               |
|            | フリースケーティング | 3分30秒 | (ISU ジュニアの内容) |
| 【Bクラス】     | フリースケーティング | 2分30秒 | (ノービス B 課題)   |
| イ 女子【Aクラス】 | ショートプログラム  | 2分40秒 |               |
|            | フリースケーティング | 3分30秒 | (ISU ジュニアの内容) |
| 【Bクラス】     | フリースケーティング | 2分30秒 | (ノービス B 課題)   |
- (2) アイスホッケー競技  
男子トーナメント
- (3) スピード競技
- |      |      |       |       |       |        |           |           |
|------|------|-------|-------|-------|--------|-----------|-----------|
| ア 男子 | 500m | 1000m | 1500m | 5000m | 10000m | 2000mR    | パシュート(8周) |
| イ 女子 | 500m | 1000m | 1500m | 3000m | 2000mR | パシュート(6周) |           |

## 4 競技規則 日本スケート連盟競技規則・規定及び日本アイスホッケー連盟競技規則・規定による。

## 5 参加資格

- (1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
- (2) 当該競技の北海道スケート連盟または北海道アイスホッケー連盟に登録済みの者であること。
- (3) 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意志がある者。
- (4) 平成14年4月2日以降に生まれた者。(4月2日起算で19歳未満の者)但し、出場は3回までとし、同一学年での参加は1回限りとする。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住などやむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。なお、6ヶ月未満の起算は全道大会開催日とする。
- (6) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該学校長が支障ないと判断した者とする。
- (7) 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申出により別途協議する。なお、引率者と監督が同一の場合は教員とする。  
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
- (8) 引率責任者は選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (9) スピード競技において、マネージャーを必要とするときは、当該学校長が参加を認めた者とする。
- (10) フィギュア競技については、申込締切日に以下の級を取得している者とする。  
【Aクラス】日ス連FDバッジテスト5級以上  
【Bクラス】同テスト4級以下
- (11) 参加資格の特例
- ア 上記(1)に定める生徒以外で(2)～(6)の大会参加資格を満たした生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ (4)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。なお、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。
- ウ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- エ 部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

### 【大会参加資格の別途規定】

- 1 北海道高等学校体育連盟加盟校以外の学校に在籍し、全道高校体育大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 会参加資格を認める条件
    - ア 北海道高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、部活動時間帯等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加者心得を遵守し、競技種目開催要項及び申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

## 6 チーム編成

- (1) 課程(全日制・定時制・通信制)ごとの生徒によるチームであること。
- (2) アイスホッケー競技
  - ア 出場チームの制限はしない。
  - イ 選手登録は1チーム25名以内とする。
  - ウ 出場選手は、各校プレーヤー5名以上、20名以内とし、GKは1名以上2名以内とする。
  - エ 選手は全面を覆うフェイスマスク(顎が完全に隠れること、改造マスクは認めない)及びネックガード、マウスガードを必ず着用すること。
- (3) スピード競技
  - ア 各校ごと1人2距離以内、1距離3名以内出場することができる。(1距離4名以上の場合は国体少年の部に申し込むこと。)
  - イ リレーは2名以内補欠を認める。また、パシュートは、4名でチームを形成し、3名の出場とする。
  - ウ 国体予選との同時出場を認める。但し、両大会合わせて2距離以内とする。(リレー・パシュートを除く)
- (4) フィギュア競技  
取得級によってクラス別するが、出場者は制限しない。但し、学校対抗得点は各学校【Aクラス】出場上位3名の合計とする。

## 7 競技方法

- (1) アイスホッケー競技
  - ア トーナメント方式により順位(3位は2校)を決定する。
  - イ 組み合わせ抽選は下記の要領でおこなう。
    - (ア) 各支部を8つのゾーンに分ける。(但し、1回戦については同一支部とは当たらない)
    - (イ) 支部別大会により8校をシードする。
      - ※1 前年度優勝支部枠1校(本年度同支部の1位校が第1シード、トーナメント左端)、準優勝支部枠1校(本年度同支部の1位校が第2シード、トーナメント右端)とする。
      - ※2 残り6校のシードについては、上記2校を除いた各支部大会の上位2校をそれぞれシードする。
- (2) スピード競技
  - ア 全距離1周400mの標準ダブルトラック(Cタイプ)で行う。
  - イ 男女1000m以上の距離は、カルテットスタートの競技方法を採用する。
  - ウ 各距離の入賞は8位までとし、得点は、1位8点、2位7点、以下8位1点、とする。
  - エ リレー・パシュート以外の各距離の組み合わせ及び出走順については、昨シーズン及び今シーズンの大会申し込み締め切り日までに行われた日本スケート連盟公認競技会における自己最高記録により事前に組み合わせを行う。高校の部と国体予選それぞれに公認タイム順に上位から組み合わせを行い、下位の者から順に滑走する。
    - ※ 10000mの組み合わせは5000mの公認タイムとバジテスト級を基に専門委員が組み合わせを行う。
  - オ 同種目の高校の部と国体予選の選手の入替は当該種目開始1時間前までとし、1種目につき1名1回限り認める。その際、選手変更届を提出すること。
  - カ リレーについては、補欠を含めたチーム内の上位4名の500m公認タイム(タイムなしはパーソナルベスト)を申込用紙に記入すること。それを基にランキングを作成して、事前に複数のスピード専門委員が組み合わせを行う。使用するバトンに参加チームの各校で準備しレースを行う。
  - キ 白、赤、黄、青の腕章は個人で用意し、脱着も個人で行うこと。デザインは無地に限り、スポーツメーカー等のマークが印刷されているものは使用できない。
  - ク チームパシュートレース及びリレーに出場する場合は、安全対策として、ヘルメット(ショートトラック競技の基準に適合するもの)・ネックプロテクション・シンガード・アングルプロテクション・手袋の着用を義務付ける。なお、レーシングスーツはカットレジスタンスであること、およびブレードは両端を丸くカットしてあることが望ましい。腕章は両腕に着用すること。

ケ パシュートの組み合わせは事前に複数のスピード専門委員が行う。パシュートの組み合わせは、本大会 1500m のエントリ人数・公認タイムを基に行う。グループをA～Cに分け、Cグループから滑走する。

Aグループ：各チーム 1500m 出場選手の 2 番目タイムでランキングをつける。

Bグループ：各チーム 1500m 1 名のみ出場チームでランキングをつける。

Cグループ：1500m の出場選手がいないチームは、フリー抽選を行う。

コ 以下、別紙スピード競技申し合わせ事項に従う。

### (3) フィギュア競技

ア 男子・女子【Aクラス】の競技はショートプログラム及びフリースケーティングをおこない、その総合成績によって個人の順位を決定する。

※ フリーの滑走順はS Pの結果のリバースオーダーで行う。

イ 男子・女子【Bクラス】の競技はフリースケーティングのみとする。

ウ 学校得点は、個人の順位の逆転法によって得点をあたえ、その合計点をもって順位を決定する。ただし、同点の場合は、上位者のある学校を上位とする。

## 8 参加申込

### (1) 申込方法（次の該当する様式に必要な事項を記入し申し込むこと）

様式 1	スピード競技	申込選手一覧表（この様式については、必ずメールで送信すること。）
様式 2	スピード競技	距離別申込選手一覧表（2000m リレー・パシュート申込を含む） この様式については、必ずメールで送信すること。）
様式 3	フィギュア競技	申込選手一覧表
様式 4	アイスホッケー競技	申込選手一覧表
様式 5	アイスホッケー競技	プログラム掲載用選手名簿 （この様式については、必ずメールで送信すること。）
様式 6	アイスホッケー競技	選手登録変更届（12 月 10 日 監督主将会議の受付時に提出すること。）
様式 7	全競技	参加料納付書
様式 8	全競技	宿泊連絡書

### (2) スピード競技申込ファイル

日本スケート連盟ホームページ（<http://skatingjapan.or.jp>）国内競技会オンライン大会申込から参加選手の登録番号・パスワード（日本スケート連盟登録者へは葉書で通知済み）を入力し大会名（第 74 回北海道高等学校スケート競技選手権大会）を選択。出場種目等（リレー・パシュート含む）を入力する。

オンラインシステムへの入力については、**11 月 22 日（月）正午で終了** しその後の入力できない。

オンラインシステムの入力開始日は **11 月 1 日（月）** とする。

★フィギュア競技の「コンテンツシート」も下記HP内の「様式 3」の次にあります。

※必要な書類を郵送するとともに、電子メールで下記アドレスに書類のファイルを送信すること。

※必要な書類の書式は、インターネットでダウンロードすること。

要項・様式のダウンロード：スピード・フィギュア競技

北海道帯広農業高等学校ホームページ（<http://www.obino.hokkaido-c.ed.jp/>）

要項・様式のダウンロード：アイスホッケー競技

北海道帯広緑陽高等学校ホームページ（<http://www.obihiroryokuyou.hokkaido-c.ed.jp/>）

〈メール送信先〉

◆スピード・フィギュア競技（[obino-z2@hokkaido-c.ed.jp](mailto:obino-z2@hokkaido-c.ed.jp)）

◆アイスホッケー競技（[iceman@hokkaido-c.ed.jp](mailto:iceman@hokkaido-c.ed.jp)）

(2) 送付先・送金先及び申込期限

■アイスホッケー競技

〒080-0861 帯広市南の森東3丁目1-1 北海道帯広緑陽高等学校  
全道高校アイスホッケー競技選手権大会事務局 Tel 0155-48-6605 Fax 0155-48-6603

- ◆送金先 帯広信用金庫 稲田支店
  - ◆口座番号 普通 0383667
  - ◆口座名 北海道帯広緑陽高等学校当番校会計A 代表 杉田良二
- ※ 申込期限 令和3年11月12日(金) 必着

■スピード・フィギュア競技

〒080-0834 帯広市稲田町西1線9番地 北海道帯広農業高等学校  
全道高校スケート競技選手権大会事務局 Tel 0155-48-3051 Fax 0155-48-3052

- ◆送金先 帯広信用金庫 稲田支店
  - ◆口座番号 普通 0370802
  - ◆口座名 帯広農業高等学校高体連当番校会計 校長 大関俊郎
- |                |               |                      |           |
|----------------|---------------|----------------------|-----------|
| <u>フィギュア競技</u> | <u>※ 申込期限</u> | <u>令和3年11月12日(金)</u> | <u>必着</u> |
| <u>スピード競技</u>  | <u>※ 申込期限</u> | <u>令和3年11月22日(月)</u> | <u>必着</u> |

- (3) ①参加校は、「宿泊連絡書」を各当番校にメールまたはFAXでそれぞれの申し込み締め切り日必着で送付すること。
- ②フィギュア競技で使用する音楽について  
フィギュア競技の音楽はCDまたはMDとし、最初から再生できるものとする。  
学校名・使用音楽名・音楽の時間・選手氏名を配布されるラベルに明記し、使用面に貼付すること。また、万一に備えて提出音源とは別のソフトで作成した予備(別メディア)の音源も必ず持参すること。
- ③フィギュア(コンテンツシート)は下記までメールに添付して送信してください。 11月12日(金)必着

送信先: cbm90310@pop16.odn.ne.jp 古畑 裕美子 宛

9 参加料

選手(補欠を含む)1名につき6,100円を参加申込書とともに期日までに納入すること。

(高体連参加料1,500円+国体予選参加料4,600円)

※国民体育大会との関係については、別記「16 国民体育大会との関係」を参照すること。

※フィギュア競技【Bクラス】参加者は競技種目の関係上、国民体育大会の出場資格を満たさないため、高体連参加料1,500円を参加申込書とともに期日までに納入すること。

10 プログラム

プログラム購入希望者にはアイスホッケー、スピード、フィギュアそれぞれ1部600円で販売する。購入分とは別に、各校に1部、無料配布する。代金は、参加料とともに納入する。

11 宿泊 参加校で各々手配すること。

12 表彰

(1) アイスホッケー競技

第3位までに賞状を、優勝校には優勝杯(持ち回り)を授与する。

(2) スピード競技・フィギュア競技

学校対抗男女総合3位までに賞状を、優勝校には優勝杯(持ち回り)を授与、個人入賞者(8位まで)に賞状を授与する。

但し、フィギュア競技【Bクラス】については、個人入賞者(3位まで)に賞状を授与する。

13 組合抽選

(1) アイスホッケー競技 令和3年11月29日(月曜日) 帯広緑陽高等学校 会議室

(2) スピード競技 令和3年11月29日(月曜日) 帯広農業高等学校 会議室

(3) フィギュア競技 ~~令和3年12月11日(土曜日) 選手会で行う~~

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、選手会における組み合わせ抽選会は中止とします。

※組み合わせ抽選は、帯広スケート連盟および当番校にて実施いたします。

抽選結果は、11月15日(月曜日)以降に、当番校の

ホームページにて掲載いたしますので、ご確認ください。

14 公式練習

- (1) アイスホッケー競技 令和3年12月10日(金)11日(土)  
 ※組合せ抽選後、会場と時間の割当てを連絡
- (2) スピード競技 令和3年12月16日(木)9:00~11:00(スタートトライアル10:15~10:45)  
 12月17日(金)8:00~9:30 競技終了後30分  
 12月18日(土)8:00~9:30  
 12月19日(日)8:00~9:30
- (3) フィギュア競技 令和3年12月11日(土)8:30~12:00 ショートプログラム  
 12月12日(日)6:30~9:15 フリースケーティング

15 全国大会について

(1) 出場資格

- ア スピード競技 男女ともバッジテストC級以上  
 イ フィギュア競技 男子6級以上、女子7級と6級の上位6名までとする  
 ウ アイスホッケー競技 8校(その他は全国大会要項に準ずる)

(2) 参加申込

全道大会終了日「フィギュア競技は12月12日(日)・スピード競技は12月18日(土)、19日(日)・アイスホッケー競技は12月11日(土)(ベスト8決定後ただちに)」までに、申込用紙に必要事項を記入の上、校長の職印を押印し、申込に関する代金を添えて申込を完了すること。(フィギュア女子7級及び6級の選手は、今大会の結果で全国大会出場の可否が決定するため、全国大会参加必要書類を全員持参すること)

参加申し込みは各大会競技会場で、北海道体育連盟スケート専門部事務局が受付ける。

16 国民体育大会との関係

(1) 参加申込

北海道スケート連盟及び北海道アイスホッケー連盟との協議により、本大会に申し込みをした者は、第77回国民体育大会冬季大会北海道予選会(少年の部)(以下「国体」という)に参加を申込んだこととする。

(2) アイスホッケー競技

本大会参加資格のうち、年齢を超過している者を除き、全員を国体の選手としての選考の対象とする。したがって、平成14年4月2日から平成15年4月1日の間に生まれた者は、欄外に「高体連のみ」と朱記すること。

(3) スピード競技・フィギュア競技の取扱い

本大会には、1校から出場できる人数の制限(スピードのみ)があり、且つ、国体とは参加資格が異なるので、本大会に参加する資格のない者でも、国体に参加することができる。

(4) 参加資格の比較(主なもの)

高 体 連	国 体
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年4月2日以降に生まれた者。</li> <li>高体連に加盟している学校の生徒。</li> <li>転校後6か月未満の者は除く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成15年4月2日以降に生まれた者。(但し、スピード競技、フィギュア競技に関しては中学3年生も参加できるものとする)</li> <li>高体連に加盟していない学校の生徒。または、高校生でなくてもよい。</li> <li>転校による条件はない。</li> </ul>

(5) 国体予選(少年の部)にのみ参加する者は、国体予選申込書によって申し込むこと。

(6) スピード競技へ参加する中学3年生は、前年度の北海道中学校スピードスケート競技会の各種目の10位以内の選手とする。

(7) 国民体育大会に北海道選手団として選考された中学3年生は、必ず出場しなければならない。

17 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

(1) 北海道高等学校体育連盟の決定に基づき今競技会は無観客での開催とする。

(2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する対策については、別紙の通り規定する。